

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ベンデッタ 44 マグナム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：ベンデッタスナイパー

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

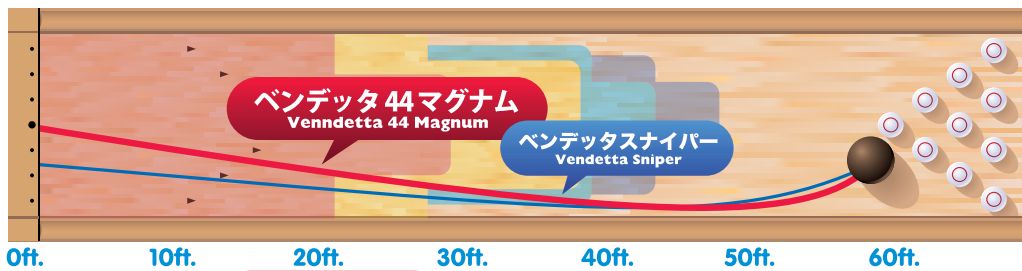
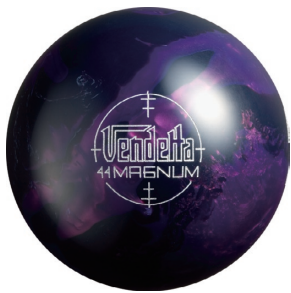
ペーパー

ポリッシュ

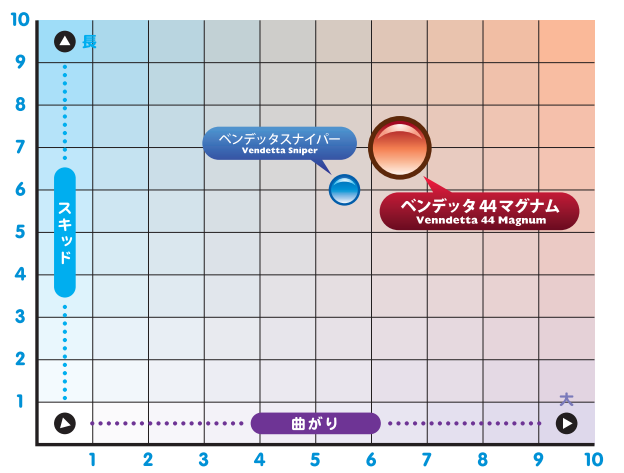
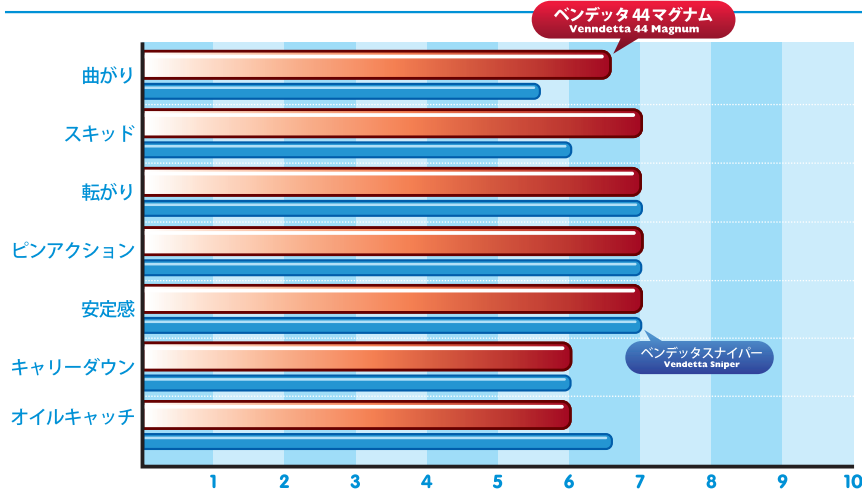
PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レールコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

ボールの評価

このベンデッタ 44 マグナムはベンデッタコアにリアクティブを搭載し、爽快なスキッド感とフリップ感を実現させています。今までベンデッタの称号は手前からしっかりと転がり、リアクションも派手さを抑え扱いやすさを求めたスペックでありました。今回のベンデッタ 44 マグナムはベンデッタ特有の手前のしっかりとした転がりはそのままにバックエンドからの動きを強調させています。ボールのリアクションはほとんどカバーストックとコアの組み合わせで決まります。コア形状がベンデッタのままで、今回のようになぜフリップ感の動きを出せるようになったのかは秘密があります。あくまでコアとカバーストックの組み合わせで吟味し作成されたこのボールは、実際手にとって頂き隔々まで見ていただければその秘密は解ると思います。カバーストックがリアクティブベースのボールですので、**対応コンディションはミディアムを中心に使用して頂くのがベストと思われる**。投球して頂き、走りが先行して感じてしまうときにはスコッチメッシュで800番~1000番程度で軽く表面の光沢を取る事により、よりハッキリしたリアクションを得ることができるでしょう。現在は表面加工を自分流にアレンジすることがレールアジャスティングの選択肢の一つに考えられています。**オールマイティーに幅広いコンディションで使用するならば、このベンデッタ 44 マグナムを選択**すべきでしょう。

特記事項

良く転がり、柔らかく切れる。軽く光沢を取る事によりそのリアクションは加速します。ベンデッタ 44 マグナムの性能を十二分にご堪能ください。